

【資料2】委員意見一覧等 8.30修正反映後 HP掲載用

委員意見一覧

No.	意見の概要	意見に対する委員会での回答	総合戦略改訂案の関連箇所
1	大規模な商業施設の整備中だが、流入者と近隣生活者の動線に支障をきたさないよう交通環境にも配慮して進めてほしい。 (奥田委員)	・商業施設整備において一時的な渋滞の懸念はあるが、一方経済効果への期待は非常に大きいと考えている。公共交通環境については、長期的な展望のなかで誰もが利用・生活しやすいものとなるよう、引き続き検討していく。(小塚企画管理部長)	・(p14)戦略の全体像に「地域の暮らし、賑わい、交流を育む持続可能な公共交通の実現に取り組む」と記載している。
2	保育園の入園希望について、必ずしも第1希望どおりにはならないのが少し残念である。 (藤井昭委員)	・大門地区は宅地開発が進んでおり、大門きらら保育園の入園希望者は非常に多いため、同地区の大門わかば幼稚園を認定こども園化し、保育ニーズの拡充を図っている。(小見福祉保健部長)	・(p21)「施策の内容」の「保育園、幼稚園、認定こども園での幼児教育・保育の充実」として記載している。
3	学校部活動の地域移行と体育施設の統廃合について、市ではどのように関連付けて捉えているのか。 (石黒委員)	・学校部活動の地域移行については順次進めているところである。現在6か所ある体育施設の統廃合については、各種スポーツ団体や地域の意見を踏まえながら今後方向性を示していきたいと考えている。(遠藤教育委員会事務局次長)	・(p23)「施策の内容」に「学校部活動の段階的な地域移行の推進」、(p37)「具体的な施策」に「人口減少を踏まえたストックマネジメントの強化」と記載している。
4	ベイエリアの活用方法について施策の方向が定まっていないように感じるが、市としての見解は。 (加治委員)	・集客の手法としては、イベントの開催と個人旅行客の獲得のどちらも重視していきたいと考えている。(佐野観光・定住課長)	・(p29、30)「具体的な施策」の「観光資源の有効活用」に各施策を記載している。
5	デジタル田園都市国家構想交付金について、まちづくりに結び付く事業への活用はないのか。 (牛塚委員)	・地方創生タイプの交付金を活用した事業について、進捗状況報告書(資料1)p12~17に記載している。特に「高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業」は令和5年度で事業終了のため、引き続き新たなまちづくりに向けた事業について関係課で協議・検討を行っているところである。(長面係長)	・(p29、30)「具体的な施策」の「観光資源の有効活用」に記載された各施策 ・(p31)「施策の内容」の「電動カート、電気自動車等の活用」

【資料2】委員意見一覧等 8.30修正反映後 HP掲載用

No.	意見の概要	意見に対する委員会での回答	総合戦略改訂案の関連箇所
6	2次交通が不足していると思うが、新たな施策はあるのか。 (春日委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活面ではデマンド交通の活用が有効であると考えており、今年度AIオンデマンドバスの実証運行を予定している。効果検証し、順次拡大できればと考えている。(明野生活安全課長) ・観光面では、既存の周遊バスを効率的に運行していくほか、道の駅周辺から南北に繋ぐ2次交通について構想しているところである。(佐野観光・定住課長) ・自家用車を所有しない方が快適に生活、観光できるよう、カーシェアリングをはじめとした複数の交通モードを選択できるような体制整備について、官民連携も踏まえて検討していきたい。(長谷川市民生活部長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(p31)リード文に「通勤、通学や生活利便施設などへの移動等の利便性を高めるため、デジタル技術を活用し、市内各地区を結ぶ、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークを構築する。」と記載している。 ・(p31)「具体的な施策」に「2次交通の充実」として記載している。 ・(p31)「施策の内容」に「【新】AIオンデマンドバスや自動運転バスの導入」として記載している。
7	イベントを開催しても、施設側に収容面での制限がある。2次交通で補うなど検討する必要があるのではないか。また、民間事業者等が開催するイベントについて補助する制度があるとよい。 (加治委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・2次交通を観光面から検討すると、富山方面からの誘客が望ましいと考えている。海王丸パーク周辺の収容台数の不足は認識しており、イベント開催時における臨時便の運行や運行費用へ補助等が可能なかは、今後検討する必要がある。イベント開催への支援についても、今後の検討課題とさせていただきたい。(佐野観光・定住課長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(p31)「具体的な施策」に「2次交通の充実」として記載している。
8	2次交通の充足について、今回の改訂で反映させることは可能か。 (岩本委員長)	<ul style="list-style-type: none"> ・現行「射水市地域公共交通網形成計画(R2~6)」にない内容については、新しい形成計画に盛り込むとともに、次回の総合戦略の抜本改訂で対応する。(長谷川市民生活部長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(p31)「具体的な施策」に「2次交通の充実」として記載済みだが、観光面からの2次交通について強調し、ナイトタイムエコノミーの観点を追加するため次のとおり追加する。 ①リード文を追加する (p31)追加：生活路線に観光振興の視点を取り入れた2次交通の確保を推進する。 ②「施策の内容」を追加する。 (p31)追加：【新】市内における宿泊客や飲食店利用者の移動利便性の向上

【資料2】委員意見一覧等 8.30修正反映後 HP掲載用

No.	意見の概要	意見に対する委員会での回答	総合戦略改訂案の関連箇所
9	デジタル田園都市国家構想交付金を活用したR5年度事業について (牛塚委員)	デジタル実装タイプの交付金を活用する事業は、「AIオンデマンドバスの実証運行事業」、「書かない窓口」の導入」の2件である。 (森田未来創造課長)	・(p31)「施策の内容」の「AIオンデマンドバスの実証運行事業」 ・(p37)「施策の内容」の「書かない窓口」の導入」
10	「高等教育機関等の誘致」の内容について。 (岩本委員長)	・特別な施設を想定しているものではない。他の「学びの地域拠点、研究フィールドの場の創出」、「高等教育機関との多様な分野における連携」と一体となった施策と考えており、若者の流出抑制と流入促進を図るものである。(小塚企画管理部長)	・(p33)「施策の内容」の「高等教育機関等の誘致」、「学びの地域拠点、研究フィールドの場の創出」、「高等教育機関との多様な分野における連携」
11	「高等教育機関等の誘致」について、既存の取組成果や強みも分析し、新規施策とともに成果が反映されるよう取り組んでほしい。 (岩本委員長)	なし	・(p32)施策の目的を強調するため、リード文を一部修正し、「施策の内容」を追加する。 ③リード文 修正前：市内外の学生による地域課題の解決や学生の市内定着を促進する。 修正後：市内外の学生による地域課題の解決や、 <u>地域活動を通じた射水市への愛着の醸成を図り、学生の市内定着を促進する。</u> ④施策の内容 追加：【新】学生の起業への支援
12	デジタル田園都市国家構想交付金を活用したR6年度以降の事業について。 (岩本委員長)	市のDXビジョンに掲げる事業については、積極的な活用を検討している。(森田未来創造課長)	(p37)「具体的な施策」の「情報通信技術の活用による利便性の向上及び行政の効率化」に記載する各施策

【資料2】委員意見一覧等 8.30修正反映後 HP掲載用

No.	意見の概要	意見に対する委員会での回答	総合戦略改訂案の関連箇所
13	<p>こどもを遊ばせたくなる大きな公園や雨天でも利用できる施設が少ない。市外からも訪れたい公園等があれば、射水市の魅力に繋がり、また利用に伴う経済効果も生まれるのではないかと。 (藤井昭委員)</p>	<p>・大門地区においては、「グリーンパークだいもん」があり、夏場のプールは市外からの問合せも多く、毎年多くの利用がある。今年度から親子で楽しめるスケートボード広場も整備しており、多様な世代による賑わい創出を図っている。(小川都市整備部長)</p>	<p>・(p38)「民間活力を導入した施設整備及び利活用」として記載している。</p> <p>現在Iタウン内にパークPFIによるインクルーシブ遊具を備えた屋内遊技場及び公園を整備している。</p>
14	<p>イベント開催者がチャレンジしやすく、またその目的を最大限に発揮できるように、市に相談窓口を設ける等、協力をお願いしたい。※要望につき回答は求めない (加治委員)</p>	<p>・進捗状況報告に係る意見は省略</p>	

・進捗状況報告に係る意見は省略